

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



2026夏の“武者修行”第一弾終了して第二弾へ!!
選手権一次トーナメントまであと三週間!!

2026夏の“武者修行”(各フェスティバル)第一弾終了⇒第二弾へ!!

⚽K's football style⚽で、二年ぶりの二次トーナメント目指す!!

2026年の夏休みもあっという間に時間が経過し、気が付けば残り二週間となりました。つまり、選手権まで三週間です。菅平合宿後の東京の暑さは台風の影響もあり昨年ほどではありませんがやはり湿度が高く。特に8月上旬の猛暑は体に堪えました。一昨年より暑熱対策のためトレーニングやTRMを夕方時間に設定するなど工夫をして活動しています。また、暑さの中でもコンディショニングを維持するためには、合宿中の規則正しい生活を東京に戻ってきても継続できるかが課題です。特に、暑い日が続くと食欲が減退気味ですが、「食事」に関しては保護者の方も管理栄養士の佐藤さんの指導を受けることもいいと思います（毎年、個人的にLineで食事のアドバイスを受けている保護者の方がいます）。古今東西、暑い夏を最後まで乗り越えられるものは、やはり**食べられるやつ**という結果は出ています。チーム内でも佐藤さんの指導の成果で、TRM後におにぎりを食べる姿を目にするようになりました。是非、各ご家庭でもコンディショニング維持と体つくりのために、どんぶりでご飯を食べるようにして下さい。胃も筋肉で構成されているので「食トレ」で膨らむようになります。いい習慣は継続させたいですね。

さて、チームは菅平合宿後、翔陽高校と合同で参戦しているフレッシュカップ（今年はかなり苦戦しています）や「都立高大会」、「関東近県交流大会」では埼玉に通い“武者修行”と称した各フェスティバルへの参戦や長期休業中恒例のトレーニングマッチを多く組み、強豪校やライバル校に実戦を通して揉まれています。“K's football style”は、ボールを握りながら相手ゴールに迫るサッカーを目指しています。今年は、一年生がメンバーに含まれるので、未だフィットできずにミスが目立つこともありますが、対戦相手によっては優位にゲームを進めることもできるようになりました。夏休みの実戦を通して、課題をクリアし定着するために時間を掛けながら、更に、チーム内で共有できることを増やして“K's football style”に磨きをかけていきたいと思います。引き続き“武者修行”第二弾の実戦を通して確認していこうと思います。



2026 武者修行第一弾では、嘗て全国大会に出場したチームの会場でゲームをする機会を得た

2026 夏の“武者修行”第一弾が終了⇒課題山積で第二弾がスタート!!

8月1日～10日は「可愛い子には旅をさせよ」の精神ではありませんが、全てAWAY(相手チームの施設)でのゲームで恒例の武者修行を行いました。年間を通じて片倉高校グラウンドでTRMをすることが多いのですが、夏休みと春休みは積極的に校外のグラウンドに行くことで学ぶべきことは山ほどあります。夏の武者修行の意義は、サッカーが上手くなるためだけではなく、公共交通機関を使用する機会が多いので、マナーやルールを順守することや社会性を身に付けること、他者への礼儀や他校への配慮、荷物の整理整頓、ゴミの後片づけや清掃など何かと気を使う場面も多いです。🏃‍♂️きつい走りもいつでも全力で取り組む!!🏃‍♂️



そして、AWAYでは勝手の分からないところで着替えたり、会場の関係でアップ場所も狭く普段のようににはできないことも多々あります。また、TRMでも人工芝や整備の行き届いたグラウンドとは限らずに、時にはボコボコの表面や硬くボールが弾んだり、雨でぬかるんだグラウンドに苦労することもあります。しかし、逆境や試練こそが子どもたちの成長を促すとともに貴重な経験となります。サッカー部の活動で起こる理不尽な出来事なんて社会に出たらたいしたことではありません。人生逞しく生きていくために当たり前になり過ぎてはなりません。高校時代のサッカーへのチャレンジは長い人生を生き抜くための絶好のチャンスであると捉えることが必要です。そのために、どのような環境に置かれても普段の力をコンスタントに出せるために日々の練習を全力でしっかりやることです。全ては自分自身の成長のために。そして、厳しい試練を乗り越えた先に子どもたちは磨かれて逞しい男に成長し少しずつ大人に近づいていくことを願っています。🏆武者修行で揉まれて逞しくなる🏆



<After the Game>

8月15-16日の二日間、Katakura Summer football carnivalを開催しました。ゲストは、昨年度まで翔陽高校にいらした豊田先生の新たな赴任先の神津高校サッカー部員四名です。東京都心から180km南にある島から船に乗り10時間かけてやってきました。15日午後には翔陽高校との合同練習に参加。16日は午前中に翔陽高校で練習し、午後は移動して明星学園グラウンドで三チームを混ぜてチームを作り雨の中のゲームと濃密なスケジュールではありましたが、普段の環境とは全く違う10倍もの人数の中でも臆せず一生懸命プレーをしていました。

この二日間、神津高校の四人は18年間に会った人に相当するほど多くの方と出会い、関わり、会話して、社会性を身に付けるきっかけ作りになるなど、サッカーを通して島では経験できなかったことをたくさん得ることができたと思います。キャプテンの最後の挨拶から受け取れました。

今回は先生方の繋がりを実現した企画ではありますが、神津高校の子どもたちから学ぶこともたくさんありました。もちろん指導者の私たちも一緒です。お互いにとってとても学びの多い貴重な体験となりました。



🏆置かれている環境は違えども高校サッカーにかける情熱は同じである🏆